

生産動向について（平成20年7月：「鉱工業指数」）

平成20年7月の鉱工業指数

基準年を100とする

1 生産

季節調整済指数は111.2で、前月比3.7%増となりました。（原指数114.5、前年同月比11.1%増）

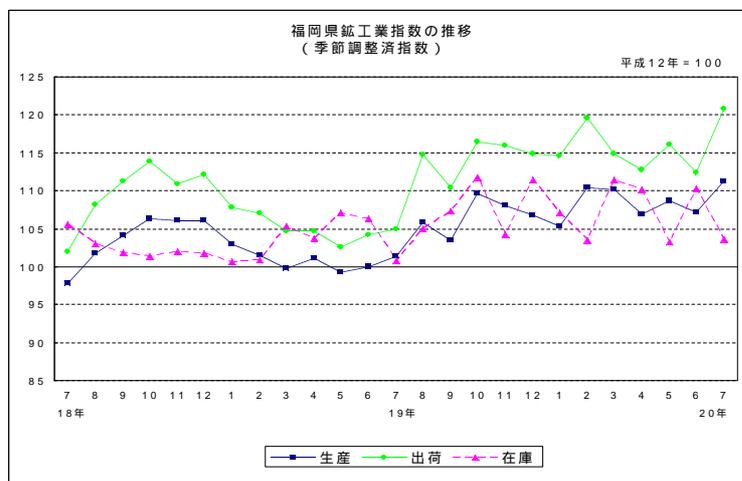
業種別にみると、輸送機械工業や一般機械工業など13業種が上昇しました。また、電子部品・デバイス工業や電気機械工業など5業種が下落しました。

| | | 季節調整済指数 | | 原指数 | | 基準年 |
|-----|----|---------|--------|-------|----------|-----|
| | | | 前月比(%) | | 前年同月比(%) | |
| 福岡県 | 生産 | 111.2 | 3.7 | 114.5 | 11.1 | 平成 |
| | 出荷 | 120.8 | 7.5 | 122.5 | 15.1 | 12 |
| | 在庫 | 103.6 | 6.1 | 108.9 | 3.6 | 年 |
| 九州 | 生産 | 111.6 | 0.8 | 114.2 | 3.1 | 平成 |
| | 出荷 | 112.4 | 0.6 | 114.5 | 4.9 | 17 |
| | 在庫 | 105.4 | 2.4 | 106.8 | 3.4 | 年 |
| 全国 | 生産 | 107.9 | 0.9 | 110.3 | 2.0 | 平成 |
| | 出荷 | 108.6 | 1.6 | 110.2 | 2.8 | 17 |
| | 在庫 | 105.7 | 0.2 | 107.1 | 2.1 | 年 |

2 出荷

季節調整済指数は120.8で、前月比7.5%増となりました。（原指数122.5、前年同月比15.1%増）

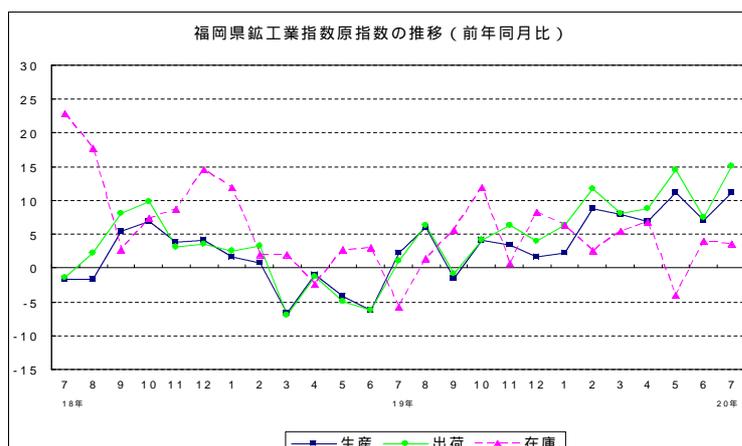
業種別にみると、輸送機械工業や金属製品工業など13業種が上昇しました。また、電気機械工業や電子部品・デバイス工業など5業種が下落しました。



3 在庫

季節調整済指数は103.6で、前月比6.1%減となりました。（原指数108.9、前年同月比3.6%増）

業種別にみると、化学工業やゴム製品工業など6業種が上昇しました。また、輸送機械工業や金属製品工業など12業種が下落しました。



主要9業種の動向【生産】

| 業種 | 前月比(%) | 前年同月比(%) | 上昇または下落に寄与した主な品目(前月比) |
|---------|--------|----------|------------------------------|
| 鉄鋼 | 1.4 | 7.0 | 冷延広幅帯鋼、鋼帯、冷延電気鋼帯 |
| 金属製品 | 14.6 | 20.5 | その他の建設用鉄構物、ドラム缶、スチールシャッタ |
| 一般機械 | 9.6 | 6.9 | 自動立体倉庫装置、冷却塔、ダイヤモンド工具 |
| 電気機械 | 3.4 | 2.7 | 開閉制御装置、電力変換装置 |
| 電子・デバイス | 4.8 | 10.7 | 線形回路、計数回路、混成集積回路 |
| 輸送機械 | 6.0 | 37.4 | 普通自動車、鋼船、小型自動車 |
| 窯業・土石製品 | 3.6 | 2.9 | ファインセラミックス、ほうろう鉄器、気泡コンクリート製品 |
| 化学 | 2.9 | 16.0 | ポリアミド系樹脂成形材料、ビスフェノールA、硝酸 |
| 食料品・たばこ | 1.4 | 14.1 | 冷凍調理食品、ビール、植物油脂 |
| 総合 | 3.7 | 11.1 | - |

ウェイト・・・平成12年における、生産活動全体を10000とした場合の各業種の規模を付加価値額の割合で表したものの。